

**令和元年度 港南台地域ケアプラザPDCAシート\_公表用**  
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

高齢化率が29.8%(H.30.9.30現在)となり、区内においても進捗率が高く、一人暮らし高齢者の最も多いエリアがあるという特徴もあります。高齢者、障がい者、子育てなど幅広い層への支援が必要であるとともに、住民同士のつながりやお互いの顔が見え、気軽に声掛けができる関係作り、ボランティアの掘り起し、育成、ネットワーク化も必要となっています。

今年度の重点的な取組

新規	継続
----	----

—具体的な取組内容—

- |                                     |                                     |                                                                                                   |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | 地区社会福祉協議会が主催する総合福祉相談会やJA、イオンでの出張相談会を通じて、地域の身近な相談機関であることを周知                                        |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | 高齢者の生活課題把握するため「買い物アンケート」を実施します。地域の課題解決となる会議や移動販売等に活用できる統計資料として情報提供できるよう進めます。                      |
| <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域住民に広く活用してもらえるように、福祉施設に関する情報を一覧にした「港南台福祉施設マップ」の更新作業を進めます。                                        |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>            | 地域住民が地域で孤立しないよう、地域の無償ボランティア活動「福祉ネットワーク(助け合い活動)」の充実に向けた支援を進めます。                                    |
| <input type="checkbox"/>            | <input checked="" type="checkbox"/> | 「自己決定支援」のツールとしてエンディングノートの活用を進めていきます。また、民生委員の定例会やインフォーマルサービスの関係者、ケアマネジャーとも連携を図り、個別のネットワークを作っていきます。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

相談会やアンケートなどから浮かんできた地域ニーズの解決に向けて様々な取組を行いました。無償ボランティア活動「福祉ネットワーク」は多くのボランティアに支えられ、実績を上げています。「港南台福祉施設マップ」は6月に更新できました。「買い物アンケート」の結果、ダイエーとの協働で11月中旬からエリア内での移動販売が開始されたので、今後その継続的利用について支援をしていきます。  
エンディングノートについては、需要も多く、様々な場所で講座を開催しました。これらを踏まえ、地域との連携は順調である。

区からのコメント

福祉ネットワークの活動支援に関しては、地域の皆さんと準備会で検討を重ね、その後の活動を支援してきたことが現在の活動につながっています。また、港南台福祉施設マップや買い物アンケートの結果などは、今後に生かせるツールになります。これらを5職種で連携しながら有効活用して、港南台エリアの地域福祉の向上に次年度も取り組んでください。  
エンディングノートに関しては、講座を積極的に開催することに加え、講座の内容の充実が図られています。今後も引き続き、より多くの方が活用されることを期待しています。